

イーエコワークス

東京都新宿区新宿6-24-20
 ウェルシップ東新宿9F
 TEL.03-5155-6516
<http://www.e-ecoworks.com>



宮崎智文社長

PCソフトやCD、DVDなどを

流出の危険なくリサイクル

コストに加え安全、環境に配慮し

廃棄物処理業界で選ばれる存在に

電気街の片隅で、露店に並んだ海賊版のパソコンソフトや音楽CD、DVDを見たことはいくつあるだろうか。

事態を重く見た企業や関係省庁は昨年12月、「模倣品・海賊版撲滅キャンペーン」を実施。取り締まりに本腰を入れている。

実はこれら海賊版の一部は、セキュリティの甘い廃棄物の現場から発生するという。

そんな中、PCソフトやCD、DVDなど著作権利商品に特化した廃棄業務を、高いセキュリティでアウトソースする企業がある。イーエコワークス株式会社（資本金1000万円）だ。

宮崎智文社長は話す。

「製品には権利や機密が詰まっている。だからこそ廃棄には安全性が問われます」

廃棄を委託される業者にはどんな物でも「不用品を預かった」というような意識がある場合が多く、著作物を扱う認識が低いという。

一方、同社ではすべての処理を10日程度に圧縮し、特に破碎までに何重ものセキュリティ管理体制を敷いている。特殊車両の利用やIDカードを使った入退室、カメラ監視、処理施設技術管理士といった有資格者の監視などだ。その高いセキュリティへの配慮が評価され、同社はメーカー以外の企業との取引を実現した。

流通や製造の現場では未発売の製品も扱うことから、確かな信頼と実績が無ければ廃棄処理を任せてもらえない。しかし同社は流通業者やプレ

ス工場も顧客にしているのだ。

同社の親会社、イーデータコントロールはPCソフトなどの製造、組み立て、流通、保管まで扱う企業。「著作物に携わる者として、廃棄からの不正流出を撲滅しなければいけない」という趣旨で設立されたのが同社だ。

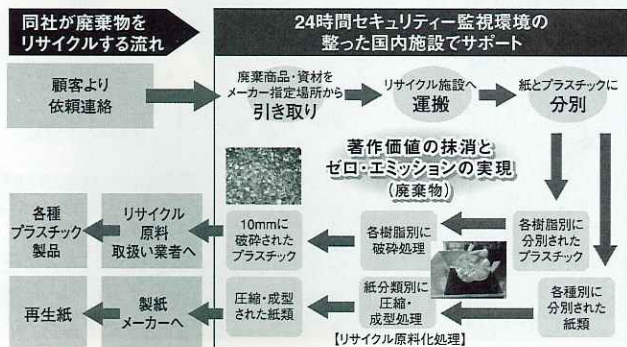
こうした廃棄を出す側の視点が大きく評価されている。

「当社の最終目標は、社名にあるように環境への貢献です」と話す宮崎社長。

従来、廃棄物処理は埋め立てなど環境への負荷がかかるものだったが、同社の廃棄事業は再資源原料へのリサイクルという方法が取られている。PCソフトやCD、DVDをプラスチック類と紙類に分別。破碎や溶融などの処理後に元素材の原料にするマテリアルリサイクルを行う。

素材ごとの分別でゴミを出さない ゼロエミッションのリサイクル

同社が扱うPCソフトなどは紙とプラスチックを素材とするのでゼロエミッション（廃棄物ゼロ）のリサイクルが可能。リサイクルは技術の向上で、廃棄よりも安いコストで実現できるようになった。



さらに、廃棄終了後は証明書のみを発行する企業が多い中、同社では証明書に加え回収からリサイクルまでを写真入りのストーリー仕立てにした書面でメーカーに提出する。環境や廃棄に関する法律や条例は日々新しくなり、企業に求められる負担は増す一方だ。それを軽減する存在としても同社が選ばれている。

宮崎社長は展望する。

「自然がくれた恵みの大切さや地球を思いやる『心の花がほころぶ』ことを、当社では『エコろぶ』と表現しています。事業からの出会いを通じて、この輪を大きく広げていきたいですね」（雄）